

担 当	大垣市こども未来部保育課 課長：川崎 主幹：高木
連絡先	TEL 0584-47-7096

保育士等サポーターの設置について

1 趣旨

本市の公立保育園、幼保園及び幼稚園に勤務する保育士や幼稚園教諭などのうち、勤続年数が短い保育士等を対象に、保育業務や職場における悩みなどの相談に応じ、アドバイスを行うことにより、離職を防止し、職場定着を支援するため、保育士等サポーターを設置する。

2 現況

本市においては、保育士等の継続的な採用を行い、国が示す配置基準を満たす保育士等を確保しているが、配慮が必要な子どもに対する個別指導の拡充や、より丁寧な保育の実施、今後の就園事由の拡大などに対応するためには、さらなる保育者の確保が必要となっている。

しかしながら、採用5年程度までの離職者が多い状況にあり、さらには、保育士等の志願者も減少傾向であるため、採用した保育士等の職場定着が大きな課題となっている。

○過去5年間の自己都合退職者数54人（うち勤続5年以下の割合 57.4%）

○過去5年間の採用者数90人

<裏面に続く>

3 サポーターの役割

新規採用の保育士等については、担当指導員がつき指導等を行うが、2年目以降になると担当指導員等の割り当てもなく、各園の中で先輩保育士等に相談をすることになるが、先輩保育士も多忙であり、また、コロナ禍においては、対面型の研修等も少なくなっていることなどから、若手保育士たちが不安や悩みを抱え、孤立感を感じることも離職の要因であると考えられる。

こうした課題に対応するため、サポーターは主に次のような活動を行う。

なお、サポーターは園等に所属せず、指導等がしやすい機会を設定し活動する。

- ①若手保育士間の交流促進や面談等を行い、勤務継続に向けたサポートを行う。
- ②保育業務に対する悩み、つまずきに対するアドバイスを行う。
- ③業務継続に向けた環境整備等について市に助言等を行う。

4 任命等

サポーターは、保育業務や保育士等の指導に精通した者で、後進の育成に取り組む意欲のある者の中から市長が委嘱する（当初は2人を委嘱予定）。

5 設置（委嘱）時期

令和5年6月